

【一括質問】 高齢者のコミュニケーションツールとして ICT環境を整備する必要性について市の考えは

コロナ禍の状況では有効な手段の一つと捉えており様々な場面での活用を検討していく

西村陸 議員(公明)

新型コロナウイルス感染症拡大により、認知症の方にとっては、日常生活が制限され、本来の認知症予防などを十分に行うことが困難な状況にある。

そのような中、コロナ禍における認知症の方や事業者の課題を聞きたい。

福祉保健部長 認知症の方の課題については、外出制限などにより、日常生活動作の低下等につながる恐れがあることである。事業者については、感染リスクを更に軽減しながら、いかに適切なサービスを提供していくかが課題であると捉えている。

議員 ICTの積極的な活用は、福祉の分野でも進めるべきと思う。そこで、認知症予防等も含め、高齢者のコミュニケーションツールとして、ICT環境を整備する必要性について、市の考えは。

福祉保健部長 コロナ禍の状況では、ICTの活用は有効な手段の一つと捉えており、今後、様々な場面での活用を検討していく。

【1】案内

市議会の本会議及び委員会は、市議会のホームページからインターネット配信等も実施しております。

常任委員会の審査報告から

総務委員会

第108号議案 令和2年度府中市競走事業会計補正予算(第1号)

本補正予算は、収益的収入として39億3390万円を増額し、予算総額を83億9722万9000円とする。また、収益的支出として29億7032万3000円を増額し、予算総額を808億1866万1000円とするものである。

補正の内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ポートレース平和島の無観客開催等を実施したことにより、電話投票による勝舟投票券発売金などを増額するものである。

質疑に対して、「補正の背景について、令和2年4月から10月までの電話投票の売上げが、前年度比で約54%の増となっているため、当初予算を大幅に上回ることを予測された」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教委員会

第91号議案 府中市立学童クラブ条例の一部を改正する条例

この議案は、市民サービスの向上を図るため、市立学童クラブの開館時間を延長し、当該変更に伴う育成料の見直しを行うもの

主な改正内容として、「開館時間について、授業がある日は下校時から午後7時まで延長する」等の説明があった。

質疑に対して、「市直営の学童クラブに、現在の指導員を集約させ、民間に委託する学童クラブと一斉に、時間延長の導入を考えている」等の答弁があった。

委員から、「市直営の学童クラブと民間に委託する学童クラブの連携を深めて運営に当たっていただくことを要望し、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第92号議案 府中市国民健康保険条例の一部を改正する条例

この議案は、本市の国民健康保険(国保)事業の安定的かつ健全な運営及び法定外一般会計繰入金等の削減を図るため、国保税の税率等の見直しなど、所要の改正を行うもの

主な改正内容として、「国保の被保険者に係る基礎課税分の被保険者均等割額については、2万3320円から2万3720円に改める」等の説明があった。

質疑に対して、「国保税の改定額については、1人当たり平均1760円の値上げとなる」等の答弁があった。

委員から、「コロナ禍において、低所得者が多い加入者に対し、国保税を引き上げるとは、適切ではないと考えるため、本案に反対する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第96号議案 府中市営住宅条例の一部を改正する条例

この議案は、パートナーシップ宣誓書受領証の交付を受けた者同士が市営住宅に入居することができるよう、市営住宅の入居資格等の見直しなど、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「事実婚の方については、未届けの夫や未届けの妻が記載された住民票を提出していただき、これまでも入居を認めている」等の答弁があった。

委員から、「パートナーシップ宣誓制度については、現状、7組が利用している」等の答弁があった。

委員から、「パートナーシップ宣誓制度の具体的な行政サービスという形で、大きく展開していただくことに感謝し、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中間報告から

基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、都調布飛行場の自家用機分散移転推進検討会が令和2年10月に開催され、都から大島空港の格納庫の整備工事は、2年度末の完了を目指しているとの報告があった。府中基地跡地留保地の状況について、都の多摩イノベーション創出まちづくり検討支援モデル事業においては、多様な地域資源を生かしつつ、留保地の新たな土地利用を行うことで、本市及び多摩地域の新たな魅力としてのイノベーションを創出することを目標として検討している。

また、航空自衛隊府中基地について、5年度から宇宙状況把握のオペレーションを開始するため、3年度には宇宙領域における指揮統制を担う部隊を新編するなどの報告があり、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

新庁舎建設工事のスケジュールについて、「おもや」の建設工事を令和3年5月から5年2月までの予定とし、「おもや」への移転は、5年5月の連休を利用して、執務室の引越しを行う。その後、既存庁舎の解体工事後の敷地に、7年4月から8年11月まで「はなれ」の建設工事を予定しており、9年1月からは「おもや」とともに、新庁舎において全ての執務を行っていく。

施工者選定に関する状況について、市新庁舎建設施工者選定委員会が施工者が選定された場合は、3年第一回定例会における工事請負契約議案の上程に向けて、手続きを進めていきたいと考えているなどの報告があり、これを了承した。

学校施設老朽化対策特別委員会

次期実施校である第三小学校及び第六小学校改築に伴う基本構想について、現状の分析や整備方針、配置の検討などの全5章から構成されている。整備方針の中では、目指すべき学校施設と整備方針において、地域の拠点や災害時の避難場所としての整備に関して、基本的な考え方を示している。配置の検討では、4つの配置計画案を作成しており、様々な方の意見を聞きながら、令和3年度に策定予定の基本計画で決定していきたいと考えている。

また、第六小学校について、放課後子ども教室と学童クラブの位置関係において、敷地外にある学童クラブを敷地内に再整備することを記載しているなどの報告があり、これを了承した。

公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会

令和2年10月8日に開催された委員会については、市の再発防止対策の取組状況に関し、市から職員が入札談合等関与行為の排除及び防止等に関する法律に違反した容疑で起訴された事件を受け、再発防止に係る行政課題の抽出や取組方針を決定するため、2年6月に市官製談合再発防止対策検討委員会を設置したとの報告があった。また、2年9月には、同検討委員会から官製談合再発防止対策に係る行政課題及び取組方針が報告されたことから、市長は直ちに再発防止対策の策定に取り組みよう行政管理局長へ通達した。

会派に属さない議員も含め、本委員会での討議内容に係る各会派の提案事項について、議員間討議を行った。更には、今後の協議の方向性について、各会派から出された意見を踏まえ、改めて今回の委員会でも協議することとした。

2年11月5日に開催された委員会については、議事事務局から2年10月14日及び10月28日の公判結果の報告を受け、質疑を行った。更には、前回提出された提案事項について、議員間討議を行った後、次回の委員会から条例・規則等の制定に向けて、具体的な協議をしていくこととした。

2年12月3日に開催された委員会については、議事事務局から2年11月10日、20日及び12月2日の公判結果の報告を受け、質疑を行った後、今後の条例等の制定に向けて、他市の条例等の関連資料等を基に、質疑や議員間討議を行った。その後、次回の委員会で倫理条例も視野に入れながら、協議を進めることとするなどの報告があり、これを了承するとともに、議会閉会中における継続審査とした。